年間授業計画

都立拝島高等学校 令和８年度（１学年用）　教科　理科　科目　化学基礎

教　科：　理科　　科　目：　化学基礎　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　１組～　７組

教科担当者：（１組：阿久津・明瀬）（２組：阿久津・明瀬）（３組：阿久津・明瀬）（４組：阿久津・明瀬）（５組：阿久津・明瀬）（６組：阿久津・明瀬）（７組：阿久津・明瀬）

使用教科書：（ 新編化学基礎　東京書籍 ）

教科　理科　の目標：

【知識及び技能】実験・観察などを通して基本的な操作や危険性を理解し身につける。

【思考力、判断力、表現力等】中学校で学習した理科との結びつきを基礎として、根拠に基づいた自分の考えを持ち表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】社会の中における理科の役割に興味を持ち、積極的に学ぶ姿勢を持っている。

科目　化学基礎　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実験・観察などを通して基本的な操作や危険性を理解し身につけるとともに、化学の基本的な概念や社会での役割を理解し考えることができる。	中学校で学習した理科との結びつきを基礎として、化学的な根拠に基づいた自分の考えを持ち表現することができる。	社会の中における化学の役割に興味を持ち、積極的に学ぶ姿勢を持っている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期		○分解反応 ・物質の三態 ・化学変化と物理変化 ○粒子模型図 ・元素と原子 ・元素記号 ・周期表 ・同位体 ○化学反応式	・実験に主体的に取り組んでいる。 ・化学変化と物理変化の違いを理解し、説明することができる。 ・化学変化について、粒子モデルと化学式で表現することができる。	○	○	○	12
	定期考査						1
		○分解反応 ・物質の三態 ・化学変化と物理変化 ○粒子模型図 ・元素と原子 ・元素記号 ・周期表 ・同位体 ○化学反応式	・実験に主体的に取り組んでいる。 ・化学変化と物理変化の違いを理解し、説明することができる。 ・化学変化について、粒子モデルと化学式で表現することができる。	○	○	○	12
	定期考査						1
２学期		○水の電気分解 ○炭酸水素ナトリウムの熱分解 ○塩化銅水溶液の電気分解 ○イオンの構造 ○塩酸の電気分解 ○電解質と非電解質	・実験に主体的に取り組んでいる。 ・化学変化と物理変化の違いを理解し、説明することができる。 ・化学変化について、粒子モデルと化学式で表現することができる。 ・分解反応から化学反応を化学式で説明することができる。 ・電流の性質からイオンの構造と性質について説明することができる。	○	○	○	14
	定期考査						1
		○水の電気分解 ○炭酸水素ナトリウムの熱分解 ○塩化銅水溶液の電気分解 ○イオンの構造 ○塩酸の電気分解 ○電解質と非電解質	・実験に主体的に取り組んでいる。 ・化学変化と物理変化の違いを理解し、説明することができる。 ・化学変化について、粒子モデルと化学式で表現することができる。 ・分解反応から化学反応を化学式で説明することができる。 ・電流の性質からイオンの構造と性質について説明することができる。	○	○	○	14
	定期考査						1
３学期		○酸と塩基	・実験に主体的に取り組んでいる。 ・化学変化と物理変化の違いを理解し、説明することができる。 ・化学変化について、粒子モデルと化学式で表現することができる。 ・分解反応から化学反応を化学式で説明することができる。 ・電流の性質からイオンの構造と性質について説明することができる。 ・中和反応から酸と塩基の性質について	○	○	○	13
	定期考査						1
							合計 70